

し、この電界値が小さい所ではほとんど被雷は発生していない。従って、被雷を防止するためには、この強い電界域を避ければよいことが分かり、これは航空機の運用上可能な手段であると思われる。

謝 辞

本研究を進めるに当たり、貴重な資料等を御提供して頂きました全日空運航管理課 下坂様、小松営業所の皆様、航空自衛隊小松気象隊の皆様、又、御助言を頂きました室岡義広教授、電界計のデータを提供して下さいましたリオン(株)に感謝いたします。

参考文献

Gunn, R., 1948: Field Intensity in Natural Clouds, Journ. Appl. Phys., 19, 481.
 島山久尚, 川野 實, 1976: 気象電気学, 岩波全書,

96-98.

Huzita, A. and T. Ogawa, 1976: Charge Distribution in the Average Thunderstorms Cloud, J. Meteorol. Soc. Japan., 54, 285-288.

Kuettner, J., 1950: The electrical and meteorological conditions inside thunderclouds, J. Meteorol., 7, 322-332.

Reynolds, S.E. and M. Brook, 1956: Correlation of the initial electric field and the radar echo in thunderstorms, J. Meteorol., 13, 376-380.

Simpson, G.C. and F.J. Scrase, 1937: The distribution of electricity in thunderclouds, Proc. R. Soc. London, Ser. A., 161, 309-352.

Takahashi, T., 1974: Electric Charge Life Cycle in Warm Clouds, J. Atmos. Sci., 32, 123-142.

遠峰菊郎, 道本光一郎, 阿部成雄, 1986: レーダーによる小松周辺の冬季雷の研究, 天気, 33, 445-452.

日本学術会議第14期会員候補者の選考対象者の募集 (公示)

学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会

日本学術会議第14期会員選出の手続きが進められております。日本気象学会は学術研究団体の登録を終え、関連研究連絡委員会は申請通り地球物理学と推定されました。次に当学会としては、第14期会員候補者を選考し昭和63年2月1日までに日本学術会議に届出ることになります。

日本気象学会の会員候補者は「天気」34巻3号でお知らせした選考方法に拠って選出します。会員候補者が満たすべき要件は次の通りです。

- (1) 5年以上の研究歴を有し、優れた研究または業績がある科学者であること。
- (2) 過去において、通じて9年を超えて日本学術会議会員であったことがないもの。
- (3) 日本国籍を有すること。

つきましては標記委員会において、会員候補者の選考対象者を募集します。自薦・他薦を問いません。応募者は下記の要領で届出て下さい。

記

1. 届出事項

ア) 応募者氏名, 住所・連絡先(住所と異なる場合), 日本学術会議会員歴, 勤務機関および職名, 最終学歴, 学位, ならびに簡単な研究歴。

イ) 他薦の場合は, 推薦者氏名(複数可), 連絡先, ならびに, 被推薦者の承諾書。

2. 宛先: 日本気象学会事務局

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

3. 締切: 昭和63年1月16日(必着)